

種別・頁

共通編 II-1-②-5

第II編 共通工

第1章 土工

②土工

2. 施工概要

改定・訂正前

2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ

(1) 道路土工, 河川土工等

凡例

- * **掘削**等施工パッケージ名称を斜体で示した。
- * **土砂等運搬**, **押土(ルース)**を実線で示した。
- * **土材料**(購入土)は通常現場着単価であり運搬は**土材料**に含まれるため破線で示した。
- ただし、**土材料**(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は**土砂等運搬**を計上する。
- * 作業土工(床掘り・埋戻し・工区内運搬)における土の流れを一点鎖線で示した。(図中⑤)

(注) 1. **掘削**に含まれる自工区内の運搬について(図中①, ②)

- 土質が土砂、岩塊・玉石の場合
 - ・**掘削**において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内運搬を含む。
- 土質が軟岩又は硬岩の場合
 - ・**掘削**において、以下の条件を選択した場合、30m以内の工区内運搬を含む。
 - 「軟岩」で施工数量「5,000m³以上」又は集積押土「有り」を選択した場合
 - 「硬岩」で火薬使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合

2. 土砂等運搬時の積込作業について(図中①～③)

- ・**掘削**において、条件区分により積込作業を含まない場合がある。
- ・**積込(ルース)**を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)ダンプトラックによる土砂等運搬時に**積込(ルース)**の計上が必要な掘削の積算条件」参照のこと。

3. 地山状態の土を掘削する場合は、**掘削**を使用する。(図中④)

改定・訂正後

赤書き箇所：訂正

2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ

(1) 道路土工, 河川土工等

凡例

- * **掘削**等施工パッケージ名称を斜体で示した。
- * **土砂等運搬**, **押土(ルース)**を実線で示した。
- * **土材料**(購入土)は通常現場着単価であり運搬は**土材料**に含まれるため破線で示した。
- ただし、**土材料**(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は**土砂等運搬**を計上する。
- * 作業土工(床掘り・埋戻し・工区内運搬)における土の流れを一点鎖線で示した。(図中⑤)

(注) 1. **掘削**に含まれる自工区内の運搬について(図中①, ②)

- 土質が土砂、岩塊・玉石の場合
 - ・**掘削**において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内運搬を含む。
- 土質が軟岩又は硬岩の場合
 - ・**掘削**において、以下の条件を選択した場合、30m以内の工区内運搬を含む。
 - 「軟岩」で施工数量「5,000m³以上」又は集積押土「有り」を選択した場合
 - 「硬岩」で火薬使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合

2. 土砂等運搬時の積込作業について(図中①～③)

- ・**掘削**において、条件区分により積込作業を含まない場合がある。
- ・**積込(ルース)**を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)ダンプトラックによる土砂等運搬時に**積込(ルース)**の計上が必要な掘削の積算条件」参照のこと。

3. 地山状態の土を掘削する場合は、**掘削**を使用する。(図中④)

(参考)ダンプトラックによる土砂等運搬時に**積込(ルース)**の計上が必要な**掘削**の積算条件

掘削		積算条件							積込(ルース)
土質	施工方法	岩質	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	
土砂	オープンカット	-	有り	-	※1	-	-	-	要
	片切掘削	-	無し	※1	-	-	-	-	不要
	現場制約あり	-	-	-	-	-	-	-	不要 ※2
	水中掘削	-	-	-	-	-	-	-	不要
岩塊・玉石	オープンカット	-	有り	-	※1	-	-	-	要
	水中掘削	-	無し	※1	※1	-	-	-	不要
	現場制約あり	-	-	-	-	-	-	-	不要 ※2
軟岩	※1	-	-	-	※1	-	※1	※1	要
硬岩	※1	-	-	-	-	※1	※1	※1	要

(注) 1. 表中「※1」は積算条件の区分の記載を省略している。
2. 表中「※2」は人力積込の計上が必要となる。

追加

種別・頁

共通編 VI-2-⑥-11

第VI編 土木工事標準単価及び市場単価

第2章 市場単価

⑥橋梁付属物工

(参考資料)

改定・訂正前

改定・訂正後

参考資料⑤ 市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手設置一覧表

製 作 会社名	単 機 装 置		【 用 途 関 係 】										注
	名 称	型 番	歩道区分	構造	仕 工	設置 方向	設置 形状	伸 縮 量 (mm)	伸 縮 水 準 差 (mm)	伸 縮 鉄 筋 重 量 (kg/m)	本 体 重 量 (kg/1.0m)	分 類	
トキマツ	スーパーストポイント	SP-60, 80, 100, 120, 150, 200	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	50~120	14.9~15.3	9.4	82.0~100.0	○	鋼橋
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	35~50	9.4	54.0~60.7	○	鋼橋	
東 武	MSポイント	MSH-20, 30, 50	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	20~30	6.24	65.70~69.1	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	60~100	14.17~20.39	67.6~109.74	○	鋼橋	
東 武	MSポイント	MSH-60R, 80R, 110R, 160R	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	60~100	14.17~20.39	61.20~114.99	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	60~100	12.89~14.36	81.26~151.98	○	鋼橋	
シ ー	シーメタポイント	SP-60, 80, 110, 160MSA	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	50	1.96	13.86	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	20~30	6.2	55.0~56.5	○	鋼橋	
シ ー	SSポイント	SS-60V	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	40	6.2	67.5	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	20~30	6.2~6.4	54.2~106.5	○	鋼橋	
シ ー	STポイント	ST-20K, 30K, 40K, 50K, 60K, 80K	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	80	9.4	102.3	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	20~30	6.2	140.5~196.0	○	鋼橋	
シ ー	スチールポイント	SH-20, 30, 40, 50	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	20~100	6.2	61.1~129.5	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	20	6.2	31.5	○	鋼橋	
シ ー	TMポイント	TM-20, 30, 50, 70, 100	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	20~30	6.2	37.8~39.3	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	20~30	4.0	42.3~44.8	○	鋼橋	
シ ー	SSポイント	SS-Y, 35-20Y, 30Y	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	40	4.0	40.5	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	60~80	4.0	63.9~90.1	○	鋼橋	
シ ー	MHポイント	MH-40	歩道	鋼橋	あり	縦断	直線	40	4.0	40.5	○	鋼橋	
			歩道	鋼橋	なし	横断	直線	60~80	4.0	63.9~90.1	○	鋼橋	

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体重量に含まない。

赤書き箇所：訂正

削除

種別・頁

共通編 VI-2-⑥-13

第VI編 土木工事標準単価及び市場単価

第2章 市場単価

⑥橋梁付属物工

(参考資料)

改定・訂正前

改定・訂正後

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 標準用中間部手設置一覧表

製作 会社名	伸縮装置		【用途関係】				【構造関係】				橋梁
	名称	型番	歩道 区分	積雪地 対応	取付 方向	適用 形式	伸 縮 量 (mm)	伸 縮 部 材 重 量 (kg/m)	伸 縮 部 材 重 量 (kg/1.8m)	分 類	
ニ ッ タ	プロアジョイント	NEE30, 30, 35, 40, 60	○	○	○	○	20~40	3.90	59.0~91.5	○	○
		SPR30, 40, 60, 100	○			○	20~100	5.97~8.95	61.7~164.5	○	○
	プロアジョイント (鋼グレーダー用)	NEE30, 30, 35, 40, 60	○	○		○	20~60	3.90	80.3~119.1	○	○
		CU, 40, 50, 55, 60, 60	○			○	20~60	3.90	57.9~102.3	○	○
	E Pジョイント	SPR30, 40, 60	○	○		○	20~60	5.97~8.95	65.5~133.8	○	○
		E P-80	○			○	30	1.90	31.5	○	○
	トランスフレクサジョイント	TF-5, TP-50	○	○		○	35~40	8.4	22.0~29.1	○	○
		SMA, 50N, 60N, 70N, 80N	○			○	20~40	6.2	52.8~133.2	○	○
	S Pジョイント	30S, 30S, 40S, 50S, 60S	○	○		○	20~40	6.2	59.2~142.4	○	○
		30S, 30S, 40S, 50S, 60S	○			○	20~60	6.2	51.3~111.6	○	○
C Wジョイント	30S, 30S, 40S, 50S, 60S	○	○		○	20~40	6.2	59.2~119.2	○	○	
	50, 70, 100, 140	○			○	80~100	2.0	19.3~31.7	○	○	
A Pジョイント	16, 35, 45, 50	○	○		○	35~50	13.0	32.6~69.0	○	○	
	16, 60, 70, 80	○			○	60~80	13.5	62.6~87.5	○	○	
トランスフレクサジョイント	16, 100	○	○		○	100	14.0	155.0	○	○	
	K-40	○			○	40	9.6	44.1	○	○	
ダイヤアライジョイント	K-60T	○	○		○		9.6	44.1	○	○	
	K-50T, 60T	○			○		8.9	80.9~93.1	○	○	
日本建設工業	マウラージョイント	K-50, 60, 110	○	○		80~100	8.8~11.5	89.2~152.7	○	○	
		E-90	○			80	29.0	117.0	○	○	

※本表に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト設置型」の場合は、本体重量に含まない。

赤書き箇所：訂正

削除

種別・頁
 共通編 VI-2-⑥-15
 第VI編 土木工事標準単価及び市場単価
 第2章 市場単価
 ⑥橋梁付属物工
 (参考資料)

改定・訂正前

改定・訂正後

製 作 会 社 名	伸 縮 装置		【用 途 関 係】					【機 器 関 係】					備 考					
			歩道区	車道区	歩道用	車道用	専用	仕掛機	積載量 (kg)	伸縮量 (mm)	伸縮速度 (mm/min)	注油容量 (kg/m)		本体重量 (kg/L.8m)	分類	基本形式		伸縮機用
																有	無	
クニエイト 中川	クニエイトジョイント	100	○	○	○	○	○	○	20~100	○	8.0	76.0~115.0	○	○	○	○		
		100	○	○	○	○	○	○	20~100	○	8.0	83.0~122.0	○	○	○	○	伸縮機付き	
	クニエイトジョイントH型	100	○	○	○	○	○	○	20~60	○	4.0	52.0~59.0	○	○	○	○		
		100	○	○	○	○	○	○	20~60	○	4.0	47.0	○	○	○	○		
	クニエイトジョイント	100	○	○	○	○	○	○	20~60	○	4.0	41.0~46.0	○	○	○	○		
		100	○	○	○	○	○	○	80~220	○	4.0	51.0~83.0	○	○	○	○		
	クニエイトジョイント	100	○	○	○	○	○	○	20	○	6.24	28.1	○	○	○	○	伸縮機付過	
		100	○	○	○	○	○	○	20	○	6.24	32.8	○	○	○	○	伸縮機付過	
	クニエイトジョイント	100	○	○	○	○	○	○	30~60	○	15.6	65.1~68.3	○	○	○	○	伸縮機付過	
		100	○	○	○	○	○	○	60~100	○	15.6	79.0~83.3	○	○	○	○	伸縮機付過	
クニエイトジョイント	100	○	○	○	○	○	○	125~175	○	15.6	100.3~131.0	○	○	○	○	伸縮機付過		
	100	○	○	○	○	○	○	20~60	○	6.24	63.0~135.7	○	○	○	○	伸縮機付過		
クニエイトジョイント	100	○	○	○	○	○	○	30	○	6.24	23.0	○	○	○	○	伸縮機付過		
	100	○	○	○	○	○	○	20~35	○	3.1	33.5~40.3	○	○	○	○	伸縮機付過		
クニエイトジョイント	100	○	○	○	○	○	○	20	○	6.24	24.7	○	○	○	○	伸縮機付過		
	100	○	○	○	○	○	○	80	○	11.0	102.6	○	○	○	○	伸縮機付過		

※本体に付属するアンカーボルトは、分離可能な「ボルト抜締め」の場合は、本体重量に含まない。

赤書き箇所：訂正

削除